学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	造形演習Ｈ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画・デザイン・工芸等の中から、進学後の学びにつながる実習を行い、実技試験対策に取り組む。進路先決定後は、分野を超えた総合的な演習と講評を行い高い造形力を身につける。
・既習の基礎造形力を生かしながら、さらに高い造形力を身につけるとともに、自己実現のための実技力の向上をめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
テーマに応じイメージを膨らませ、既習の造形力を生かしながら表現する。
【思考力、判断力、表現力等】
テーマに合わせた構想を生み出し、自分の表現につなげる。
計画的に課題を進め、自分の意図や考えを文章にしたりプレゼンテーションしたりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
これまでに培った基礎基本を積極的・主体的に活用し、創造活動に生かすような態度を育てる。
自己実現のための進路を深く考え、将来の目標に向かって自力で進む人間性を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・進学後の学びにつながる力を身につけるため、様々な表現技法を使って表現している。 ・テーマに応じてイメージを膨らませ、的確に表現できる。企画力（デザイン計画）や構成力、表現力（デッサン力、平面構成、立体構成、色彩構成、素材表現）を身につけている。	・意図や機能性、コンセプト等を考え、それに合わせた構想を生み出し、自分の表現を探求する力がある。 ・計画性をもって課題をすすめ、自分の意図や考えを文章にしたり、プレゼンテーションしたりする力を高めている	これまで培った基礎基本を積極的・主体的に活用し、創造活動に生かすような態度を身につけている。 ・自己実現のための進路を深く考え、将来の目標に向かって自力で進む人間性を高めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ワークショップ	・授業ガイダンス ・共通課題 ・講座選択	a:今までに学んだ造形の知識と技能を身につけ、基礎的な表現技法を理解している。 b:様々な造形の分野に対し、目的や条件を検討しながら作品制作をしている。 c:造形表現について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	作品 アイデアスケッチ 成果物	作品	作品 観察 提出状況 総合評価
2 3	進学後につながる造形分野の課題を行う。 ・絵画表現 ・デザイン表現 ・工芸 ・立体デザインなど 総合的な造形力を培うため、様々な分野の課題を行う。 ・描写 ・デザイン表現 ・立体表現など		a:各分野の課題の課題に対し、今まで学んだ造形の知識や技能を駆使し表現している。 b:各分野の課題の意図を理解し、思考を重ね工夫をして表現している。 c:造形全般に対して主体的に取り組み、必要な課題を自ら設定し取り組もうとしている。	作品 成果物	作品 観察 発表	作品 観察 発表 提出状況 総合評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度